

校長通信「学ばん共に」



その4 ステキな思い出 (2022/5/20)

(修学旅行帰校式 校長の話)

『月日は百代の過客にして ゆきかふ年もまた旅人なり』…松尾芭蕉、奥の細道の冒頭です。旅の終わりは切ないものです。みなさんの心の中に、今、何か残っていますか。ひとかけらでも残っている人は、ステキな旅だったんだと思います。

私の感想を言います。「また行きたいなあ」そんな思いが残るステキな修学旅行でした。楽しそうに食事する姿、おかわりに何度も行く姿、仲間と笑顔で散策する姿、歴史上の建物を真剣に見つめる姿、笑顔いっぱい土産を買う姿、任された役割をちゃんと果たそうとする姿、ガイドさんの話に耳を傾ける姿、添乗員さんやホテルの方々にお礼をいう姿…みなさんの様子を見ていて、この1学期に本来の形で修学旅行ができてよかったと心から感じました。

こういうよい行事があると、北村はなぜか歌が歌いたくなります。では1曲歌ってみます。たぶんみなさんが知らない歌です。ちょっと恥ずかしいので、みなさんは目をつぶって聴いてくださいね。(歌う…「あの娘が振っていた、真っ赤なスカーフ…」)

「真っ赤なスカーフ」という歌です。40年以上前に、私が小学生の時、毎週欠かさず観ていたテレビアニメ…宇宙戦艦ヤマトのエンディングテーマです。当時は、録画はもちろん、録音する道具もありませんでしたので、テレビに合わせて歌って覚えました。今日、通勤途中の車の中でロズさんでみたら、なんとか最後まで歌えたのでちょっとチャレンジしてみました。なぜこの歌を覚えているかというところ、この歌の「旅立つ男の胸には、ロマンのかけらがほしいのさ」という気障なセリフが好きだったからです。

昨日の帰りのバスの中で、小雨が降る曇り空を見ながら、「ああ、帰ってきちゃったなあ」と思いつつ、心にこの曲の歌詞やメロディーが浮かびました。当時好きだった歌謡曲やアニメの主題歌など、50曲

くらいは歌詞を見なくても歌えるかもしれません。10代で出会うものは、一生の財産になります。

出発式で「旅には出会いがある」と話しました。本やネットの中では出会えない「本物との出会い」だったらさらに素晴らしいとも話しました。ただし、そうした出会いを感じ取れるかどうかは、みなさんの心にそれを感じ取れる入れ物があるかどうかだよという話もしました。みなさんどうでしたか。何かを感じ取れましたか。

心の奥の方を探してみたら、きっと「ロマンのかけら」が見つかるはずです。それを、しおりを読み返しながら思い出してみてください。旅の楽しみはそれらを思い出すところにもあると思います。2年生への報告会に備えて、記憶が新しいうちに、心に残ったことをメモしておくこともいいですね。

私からの話は以上です。最後まで聴いてくれて、ありがとうございました。

修学旅行期間中の可美中HPへのアクセス数

5/10…488

5/11…506

5/12…430

合計 1424 アクセス

心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(北村健治)



2日目の班別活動より